

## 弥富市文化協会

事務局 教育委員会生涯学習課  
総合社会教育センター

# 秋・37回 市民文化展

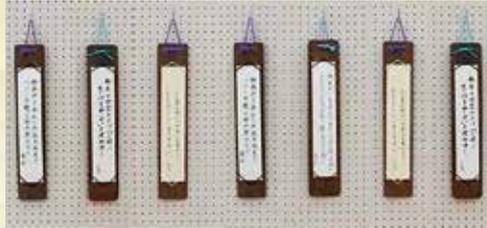
～日頃の成果を発表～

令和7年11月14日(金)～16日(日)

◆出品数 文化協会:238点 一般:136点  
市内小中学校・高校:205点  
◆来場者数 945名



大藤小学校



短歌部



弥富中学校



桜小学校



絵画部



マイ・ピクチャー倶楽部



俳句部



白鳥小学校



栄南小学校



弥生小学校

## 令和7年 秋の特別企画講習会・大会

●とき:11月7日(金)～12月14日(日) ●ところ:社会教育センターほか

22の部が講習会・大会を開催しました。日頃の活動の様子を見たり参加したりしての楽しい時間でした。



表千家茶道部:お茶の飲み方・点て方を体験



囲碁部:全員で自由対局



陶芸部:希望の作品作りを体験



太極拳クラブ:太極拳の基本動作など澁刺と



# 第十八回市民俳句大会

本年の応募者数2,414名(昨年比17名増)  
表彰式 令和7年11月15日(土)  
下記のとおり入選者の表彰を行いました。

<p>◆ 中日新聞社賞 ママの声せみの声よりうるさいな 三年 伊藤 暖人</p>	<p>◆ 弥富市文化協会会長賞 梅雨の日のぬれた蜘蛛の巣ひかてる 五年 佐藤 紗彩</p>	<p>◆ 弥富市教育委員会賞 いさぎよくせんこう花火落ちていく 五年 森 心太郎</p>	<p>◆ 弥富市長賞 あぶらぜみ歌えないほど暑い日々 五年 山口 和馬</p>	<p>《小学生の部》 ◆ 中日新聞社賞 蛭たち私の道もてらしてよ 三年 水谷 愛夏</p>	<p>◆ 弥富市長賞 鳴けよ鳴け蟬の命はあと少し 二年 橋野 凜佳子</p>	<p>◆ 弥富市教育委員会賞 その羽をもっと見せてよ揚羽蝶 三年 高木 凜子</p>	<p>◆ 弥富市長賞 盆踊り一つの輪になり和にもなる 三年 鈴木 千咲</p>	<p>◆ 中日新聞社賞 蝉が鳴く短き命尽きるまで 一年 伊藤 優花</p>	<p>《中学生の部》 ◆ 弥富市長賞 夏まつりはぐれぬようにぎゅっと手を 二年 児玉 有杏</p>	<p>◆ 弥富市文化協会会長賞 輝が鳴く短き命尽きるまで 二年 児玉 有杏</p>	<p>◆ 弥富市長賞 帰りたい祖母の言の葉セミに消え 一般 位田 真裕子</p>	<p>◆ 弥富市教育委員会賞 帰省子の老母につくる常備菜 一般 川畑 淑子</p>
--	---	--	---	---	--	--	---	---	---	---	--	---

<p>小学生の部 入選</p> <p>五年 服部 叶豊 四年 山本 未紅那 二年 居軒 羽留 三年 佐竹 凜音 一年 古川 雄晴 六年 丹川 希 四年 渥美 敬太 六年 大川 真由 四年 早川 彩賀 五年 上野 楓馬</p>	<p>小学生の部 入選</p> <p>三年 加賀 悠介 三年 久田 一颯 三年 太田 奈那 二年 岡村 陽織 一年 高木 慶近 三年 高橋 海音 二年 迫田 晃雅 三年 加藤 駿 三年 山田 桜</p>	<p>一般、高校生の部 入選</p> <p>一般 武藤 一美 一般 澤井 明 二年 高田 ぞら 一般 佐藤 守活 一般 伊藤 昭恵 一般 山田 義春 三年 谷口 桃花 二年 具志堅 奏太 一般 河村 仁誠 二年 與那嶺福太郎</p>
--	---	--



【表彰式の風景】  
本年度もたくさん  
の応募者があり、優  
秀な作品も多く見ら  
れました。

## 愛知県民茶会

●日時 令和7年10月19日(日)  
●場所 大府市 愛三文化会館

弥富市文化協会から茶道部をはじめ26名で市のバスを利用して会場へ向かいました。  
会館のロビーでバイオリンと琴の演奏もあり、和室ではゆったりとした雰囲気の中で抹茶と秋の和菓子を美味しく頂きました。

ゆったりとした  
雰囲気の中で




ロビーでの  
コンサート

## 県文連 西尾張部芸能大会

●日時 令和7年12月21日(日)  
●場所 大口町民会館

西尾張部9市町村の代表が一堂に会し、芸能を披露しました。  
フラダンス部フラ・マヒナのみなさんがヒロ・メドレーやマヌ・メレなど4曲を華やかに音楽に乗って舞台いっぱい踊り、会場は大いに盛り上がりました。




フラ・マヒナのみなさん

文化協会 研修旅行記

- ◇ 奥の細道 むすびの地
- ◇ 胡麻の郷
- ◇ 黒壁スクエア散策 (歴史的建造物)

芭蕉・豊臣兄弟 ゆかりの地へ

文化協会副会長 諸田 秋夫

十一月二十六日研修旅行が催された。好天に恵まれ、文化協会役員、各部会員合わせて三十七名で出発した。

高速道路を利用し約一時間半で「奥の細道むすびの地記念館」に到着した。

大迫力の200インチスクリーン3D映像で「奥の細道」を巡った。館内を見学したり、水門川散策を楽しんだりした。



「むすびの地」に咲くバショウの花



黒壁スクエア ガラス館

次の見学地は関ヶ原にあるテーマパーク「胡麻の郷」。ゴマミュージアムでは、ゴマ文化・パワー・魅力・効果など学習し、何種類もの中からお土産を選んだ。

昼食後は長浜市の黒壁スクエアを散策した。二〇二六年の大河ドラマ「豊臣兄弟！」ゆかりの地だ。長浜まち歩き地図を持ち、散策!! 黒壁ガラス館、曳山博物館、通りの両側の店舗など飽きることなく、一時間はあつと言う間に過ぎた。

バスの窓から紅葉を楽しみ、まだ雪のない伊吹山を後にして帰路に着いた。

郷まの文化人

山本霞村

山本霞村は、明治二十六（一九〇四）年に東京都で生まれました。国の技術者として運輸省を退官後、農林省鍋田干拓事業の技術指導に当たりましたが、干拓事業完成間近の昭和三十（一九五五）年に、前ケ須にあった工事関係者の「白南風寮」で亡くなりました。

霞村は、この寮で職員など有志が集まり毎月開かれた「うしほ」と呼ばれる句会の講師を務め、その回数は百回以上に及びました。

野を吾れに

あづけて雲雀

天に啼く 霞村

潮見台霊園 東端にある句碑



伊勢湾台風復興住宅



この句碑は、昭和三十一年（一九五六年）に鍋田干拓の南端に建設されました。碑の側面には物故者八名の名が、裏面には「昭和三十一年十二月九日 うしを吟社」と刻まれています。

鍋田干拓事業は、戦後の食糧増産と失業対策として行われた国営事業で、昭和三十一年四月には農林省建設青年隊と愛知県開拓講習生が入植しました。殉職者や物故者もあつたことから、干拓の完成を記念し、俳句の会が発起人となって句碑を建設することになったようです。

昭和三十四（一九五九）年の伊勢湾台風で鍋田干拓が崩壊し、この句碑も流失しましたが、干拓の復興とともに見つかり元の場所に復元されました。その後鍋田南部第二排水機場の整備に伴い現在地に移されました。鍋田は、かつて江戸時代に新田開発が行われましたが、水害や地震によって亡所となり、昭和に再び開発されたところです。八穂、六野、上野など当時の地名が今も残っています。

【参考】 弥富文学研究会編

『弥富文学散歩』

◆ 弥富市歴史民俗資料館

TEL 0567 (65) 4355

# 洋邦楽舞発表会 10年間のベストショット (2016年<平成28年>~)



10周年記念 北川桜コンサート



十四山民踊クラブの十四山音頭



歌謡舞踊部 小紅会



詩吟部① 大谷文化協会元会長 百歳のお祝い



コーラス十四山を指揮する服部勇二先生

写真好きの仲間集まれ!!

## マイ・ピクチャー倶楽部 部員募集中!

問い合わせ先  
社教センター事務局  
TEL 0567-65-0002

お手持ちの一眼レフカメラ・コンデジ・スマホなどでお気に入りの写真を撮ってませんか。和気あいあいとした雰囲気、毎月第2木曜日に十四山福祉センターでの月例会や季節の花木・風景・街並みなどの撮影会(年4,5回)と楽しい催しが盛り沢山です。作品の展示を社教センター・図書館・JA(十四山・鍋田)といろいろなステージでの発表ができます。興味のある方、連絡をお待ちしています。

部長 珠島 範男



## 第50回(令和7年度) 愛知県文連美術展入選作品

令和8年1月20日(火)~1月25日(日) 弥富市文化協会から13の作品が入選しました

トピックス

新カテゴリ  
写真部門

写真	陶芸	洋画	水墨画
【子供歌舞伎妖艶】 羽根 靖二	【水浴びスッキリ】 鬼頭 正明	【Sea World】 吉田 直美	【聖観音菩薩】 北野 泰弘
【おてて繫いで】 羽根 和代	【大皿(海と空)】 繩田 満江	【ドライブゴ-】 加藤 布恵	【木漏れ日】 島田美恵子
【名古屋港花火十年記念 一万三千発壮大火火】 珠島 範男	【バラの蓋付菓子器】 小林 福子	【線と墨】 山本 克志	【春のつりばし】 中島 矩子
		【梅冬風景】 諸田 秋夫	



【子供歌舞伎妖艶】  
羽根靖二

令和8年度(上期)  
文化協会行事予定

- (一) 第38回市民文化展  
とき 4月10日(金)  
ところ 社教センター  
~ 4月12日(日)
- (二) 春の特別企画講習会  
とき 4月4日(土)  
ところ 第一多目的室ほか
- (三) 第38回洋邦楽舞発表会  
とき 4月11日(土)  
ところ 社教センターほか  
~ 5月8日(金)
- (四) 藤見の会  
とき 4月25日(土)  
ところ 森津の藤公園  
お茶会・伝統芸能  
出演 洋楽・邦楽・舞踊  
各団体・弥富北中学  
校吹奏楽部
- (五) 文化協会総会  
とき 4月23日(木)  
ところ 社教センターホール  
参加 各部長と部員一名
- (六) 市民俳句大会作品募集  
とき 7月1日(水)  
~ 8月31日(月)
- (七) やとみ文協 第39号  
投稿場所 社教センターほか  
とき 9月発行